

## 新年のご挨拶

新春を迎え、読者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。平素のご厚情に深謝し、本年も読者の皆様一人一人にご満足いただける『モダンメディア』の誌面づくりに努めて参りたいと存じます。

一昨年実施しました『モダンメディアアンケート』では、沢山の方にご協力いただき有難うございました。ご回答のなかでも多数のお声をいただいたホームページ内の検索機能について、使いやすさに重点をおいて昨年5月にホームページをリニューアルさせていただきました。これからも、皆様のお声をもとにより良いホームページを作っていきたいと存じますので、実際にご利用いただき、改善等のご提案がございましたら是非お声をお聞かせください。

さて、弊社はヘルスケア(「臨床検査事業」、「食品・環境検査事業」)を通じて、人々の健康を守ることを経営理念とし、より高品質の製品および情報を提供しつつ、人々の健康に貢献したいと考えております。特に、感染症分野や健診・検診分野等の製品開発、販売に注力し、「品質で信頼され、技術で発展する“EIKEN”」をモットーに、その事業活動を推進しております。

その中で、世界的に猛威を振るっているCOVID-19に関し、2020年1月16日に国内1例目が発生する前より、弊社としていち早くCOVID-19のLAMP法を用いた遺伝子検査の試薬開発に取り掛かり、現在まで100万検体以上の検査試薬を供給させていただいております。引き続き、安定供給に努め、COVID-19を早く収束させるべく、人々の健康に貢献していきたいと存じます。

また、『モダンメディア』でも、第66巻・第11号より“新型コロナウイルス感染症 Up-to-date”という連載を開始し、様々な視点から、ご専門領域の先生にCOVID-19の最新情報についてご執筆いただいておりますので、今後ともご期待ください。

なお、本誌恒例の新春放談2021年では、「ウイズコロナ／ポストコロナ時代の医療とは…」と題し、感染症を専門とする5名の先生にご登場いただきました。聞き手は、本誌編集委員でもあります岩田敏先生(国立がん研究センター中央病院)にご担当いただきました。語り手には、実地医科・医師会のお立場から秋田博伸先生(秋田医院)、感染症診療並びに感染症研究のお立場から岩本愛吉先生(日本医療研究開発機構)、病理医のお立場から堤寛先生(つつみ病理診断科クリニック)、ワクチン研究にご造詣の深い中山哲夫先生(北里大学大村智記念研究所)にお話を伺いました。

COVID-19の流行は、国内外ともにいまだ収束が見えない状況が続いており、人々の社会生活や日常行動に大きな変化をもたらしています。医療の現場においても、臨床・研究・教育のすべての場面で大きな影響を受けており、このような時代にどのような体制や心構えで医療に取り組んで行けば良いのか、2021年に向けての展望をお話しいただきました。ウイズコロナ／ポストコロナ時代の医療について、幅広くご討論していただいておりますので、こちらも是非ご一読ください。

本年も、より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。そして、皆様方にとって素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

令和3年 元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

和田 守 史